

令和元年度第4回交野市総合教育会議 結果概要

日 時 令和元年12月26日(木) 10:30～11:30

場 所 本庁本館3階 第2委員会室

出席者 黒田市長、

北田教育長、尾崎教育長職務代理者、亥埜教育委員、伊丹教育委員、長谷川教育委員

事務局 大湾教育次長(兼 教育総務室長、兼 学校教育部長)

教育総務室：佐竹室長代理

学校規模適正化室：和久田室長

学校教育部：内山付部長

生涯学習推進部：竹田部長

企画財政部：良部長、南次長、(政策企画課) 藤本

傍聴者 0名

案 件 1. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく令和2年度予算に係る意見交換について

2. その他

資 料 1 令和2年度教育委員会予算要求資料(主要事業)

【開会】

黒田市長

本日は令和元年度第4回目の交野市総合教育会議にご参集賜り誠にありがとうございます。

それでは、ただいまより、交野市総合教育会議を開催いたします。

まず、配布資料の確認をさせていただきます。

(事務局)

配布資料の確認

【案件協議】

黒田市長

それでは、案件「1. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく令和2年度予算に係る意見交換について」を議題といたします。

現在、教育委員会各部局において、令和2年度当初予算案の編成に取り組んでいるところです。

今後、予算案を作成のうえ、議会でご審議いただく流れですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条において、「地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見をきかなければならない。」とされています。

これによりまして、令和2年度当初予算案に関して教育委員の皆様からのご意見を頂戴したいと考えております。

なお、詳細な予算要求の内容は、既に教育委員会各部局と財政部局の間で調整しており、またここで詳細に予算内容をご説明するのは時間的にも困難ですので、本会議では、教育委員会として、来年度の重点施策と考えているもの、力を入れていきたいと考えているものに係る予算事項を中心に、まず所管部局からその概要について説明し、その後、委員皆様のご意見を頂戴したいと思います。

それではまず、資料に沿って事務局より説明いたします。

(事務局)

資料1「令和2年度教育委員会予算要求資料(主要事業)」の説明

黒田市長

それでは、まずは1ページ目でご意見等ございましたらお願いします。

北田教育長

学校規模適正化室の「1. 魅力ある学校づくり基本設計等委託」について、先日教頭会の研修で明石市の学校視察を行った際、良い学校づくりが良いまちづくりになると説明がありました。良いまちには良い学校があり、良い学校は良いまちにあります。今、教育委員会が行っているのは、良い学校づくりだけではなく、交野の誇りになるような学校づくりを考えていますので、着実に進めていきたいと思っております。市にはこれまでもご協力いただいておりますが、子どもたちが良い環境で学べるよう、できるだけ早く学校づくりを進めたいと思っておりますので、引き続きご支援をお願いします。

黒田市長

今の教育長のお話では、早く新しい学校を子どもたちに作ってあげて、どんどんその中で学ばせてあげたいということでした。それは私も同感ですが、大きな変更になりますので、そのあたりの地域やPTA、保護者の方の理解に対する熟度はどのように捉えていただいておりますか。

北田教育長

小中一貫教育を行うことに関しては保護者の方も特段心配ないと考えていますが、小中一体型一貫校を作ることに関しては、保護者や地域のご心配はあると思っております。市・教育委員会が新しい学校に関して共通認識を持ったうえで、保護者の方に具体的な案を示すことで、不安も少しは和らぎ、理解も深まるのではないかと思います。

黒田市長

その段階に入れば、具体的な説明もでき、熟度も高まるという捉え方でよろしいでしょうか。

北田教育長

新しい学校がどんな学校なのか、1000人を超える規模の建物はどんな感じになるのか、グラ

ウンドはどうなるのか等、保護者の方の具体的な心配を解消するには、具体的な情報を出す必要があると思います。

基本設計に関しても具体的に新しい学校はこんな風になりますよといった説明を示せばと思います。

黒田市長

そういったことを含めて時期尚早ではないと捉えられているということによろしいでしょうか。

北田教育長

はい。

黒田市長

基本設計をして戻すということはありません。決して、今100%の理解を求めているわけではありません。状況を見ながらしっかりと説明をしながら進めていくということですが、基本設計に着手するということは、市としていろいろと案を練って検討をしていた段階から、一步踏み出すということになります。そういった点については、また別の機会にしっかりと確認をさせていただきたいと思います。

この件について他にございませんでしょうか。また、1ページ目で他にございませんでしょうか。

伊丹教育委員

学校教育部の「1. 交野小学校他9校 防火設備改修工事」ですが、防火扉が閉まらない等の話を聞いています。子どもの安全のためには早急に改善するべき点だと思います。新しい学校や、現状の学校を改修しながら、ということがあるとは思いますが、保護者にとっては、学校の不備によって危害が加わるということは非常に心配ですので、早期に着手していただきたいと思います。

黒田市長

資料にある改修箇所は法定点検で確認した結果ということですね。

事務局

点検の結果、簡易なものも含めて何らかの不具合があった箇所になります。

黒田市長

作動しない防火扉やシャッターは子どもの命に関わりますので、それを放置することはありません。子どもたちの安全を確保していただきたいと思います。

事務局

防火設備改修工事の設計業務については、令和元年12月補正予算で計上しており、それに基づき来年度において工事を実施するものです。

尾崎教育長職務代理者

学校教育部「3. 未来の教育ICT環境整備（NEXT）推進事業」について、子どもたちが主体的に学ぶとき、あるいは個に応じた教育を行うときに、ICT環境が保障されていると良いと思います。

令和2年4月からの教科書にはQRコードがつき、スマートフォンでかざすと関連資料が表示され、復習や発展的なことができようになります。交野でもそのような教科書を使います。スマートフォンがある家庭はそういった勉強ができる。予習でも使用が可能なので、こういった場面で教育に貧富の差が出ることは非常に申し訳ないことだと思います。

また、テレビの報道でもありましたが、塾ではタブレットパソコンを使用した学習が行われている。先生は指導せず、子どもたちが主体的に学習を行い、間違っただけに依って次の問題が出てくる。先生は子どもたちのサポートや機器のトラブルに当たる。こういったことが、いずれ学校現場でも行われるのではないかと思わせられました。また、通信教育では、毎月タブレットパソコンを通じて新しい教材が届く。世間ではそういった状況になってきています。

学校現場でもそういった環境に対する備えが必要ではないかと思えます。非常に予算が必要なことなので、他に優先すべき課題はあると思いますが、ICT環境の整備についてはご理解を頂きたいと思えます。

黒田市長

ICT環境の整備で、紙に置き換えると膨大な量になる教科書の理解を深めるような資料がQRコードで見られる。これまで教員が手作業で作成していた教材やテストも効率よく提供できる。したがって、それを使いこなすことは、例えば国語教育において、現在全国的な課題になっている読む力、理解する力、伝える力、読み解く力のトレーニングに有効である。このような捉え方をされているということによろしいでしょうか。

先ほどの事務局の説明で、今コンピュータ教室にしかコンピュータがないとありましたが、当時の導入意図は何でしょうか。というのは、当初導入した際はコンピュータを理解し、慣れ親しむという意図があったはずですが。尾崎職務代理者の話は、親しむということとは違う次元の話です。

今コンピュータ教室にあるコンピュータの使い方はどのようなものでしょうか。

事務局

児童・生徒にコンピュータを整備できれば、コンピュータ教室の在り方も変わってきます。いずれコンピュータ教室にコンピュータは要らなくなると思えます。

北田教育長

以前、荒川区の中学校の見学に行った際、コンピュータ教室にコンピュータがない代わりに、1人1台コンピュータがあり、子どもたちはコンピュータをツールとして使いながら、協同し議論を深めていました。教育大綱にも「生きる力」とありますが、タブレットパソコンは、子どもたちに必要な問題解決能力を養うための1つのツールとなります。今までは1人で画面に向かって作業していたものが、友達と議論しながら作業を進めることができるようになると思えます。

黒田市長

タブレットパソコンで自学自習ができ、先生はその様子を見て、子どもたちの理解度やつまづきを確認するといった教室運営もできるということですね。

タブレットパソコンにより読解力がつくかという質問は極端かもしれませんが、尾崎職務代理者の年齢の方でも、タブレットパソコンが教材として非常に有効であるというふうに捉えざるを得ないという点が非常に大事であると思います。

コンピュータというと単に知識だけとか、画像で見せてより分かりやすくするというように考えますが、分かりやすくすることが、どこまで良いことなのか。むしろいきなり画像を見せられて、イメージーションが働くのか疑問に感じる部分もあります。「見える化」や「分かりやすさ」をどこで使うのかがすごく大事だと思います。

そういうことも含めて有効なのかどうかですが、今学校で、そういったことはされているのでしょうか。

北田教育長

学校によってはタブレットパソコンが10台程度あるところもあります。

黒田市長

機会があればぜひ見学に行きたい。

亥埜教育委員

土曜日学習でもタブレットパソコンを使用しています。初めは楽しく遊んでいましたが、通信環境がないので新しいアプリケーションもダウンロードできず、子どもたちは飽きてしまい、使おうとしない状況となっています。ICT環境整備をしていただくと有難いです。

黒田市長

教育大綱の議論の中でも、一定の学力はつけなければならないが、人間のアナログ的な部分についてもしっかりと大事に育てていくという話をしていたところでもあります。アナログ世代にも有効であると思わせるものなのかどうか、ぜひ一度体験させていただきたい。

北田教育長

今年の英語プレゼンテーション大会でも、子どもたちはタブレットパソコンをうまく使いながらプレゼンテーションの資料にしていたので、ぜひ見に来ていただけたらと思います。

伊丹教育委員

ICT環境整備は、子どもたちにも良い影響がありますが、教員の業務効率向上にも繋がると思います。パソコンができることはそれに任せて、子どもたちに接したり、悩みを聞いたり、授業の計画をするなど、教員にしかできない部分により注力できると思いますので、教員の業務効率の面からも考えていただきたいと思います。

黒田市長

1 ページ目で他にございませんか。では次のページに進みます。資料2 ページ目で意見等ございましたらお願いします。

長谷川教育委員

学校教育部「5. グローバルコミュニケーション能力向上支援事業」について、保護者目線になりますが、ALTの先生の力は大きいと思います。子どもは、通常私たちが考えられないような授業の風景を話してくれます。外国の歌を歌い、その表現力を問われるとか、面白い授業をされているという話を聞きます。(2)の英語プレゼンテーション大会は、去年拝見したのですが、さらに盛り上げて、子どもたちが参加してみようと思えるような環境を作ることが益々必要だと感じました。(3)の英検I B Aは子どもたちの英語のレベルが結果として出てきます。英語に関心のなかった子どもでも、友達と見比べることによって英検を受けてみようかなと思うなど、思わぬ意識向上に繋がっているところがあります。子どもたちの意識向上の為にグローバルコミュニケーション能力向上支援事業はとても有効だと思いますので、引き続き取組みをお願いしたいと思います。

黒田市長

事業の内容としては指導者の増員になるのでしょうか。

事務局

ALTについては今年度6名に増員しており、次年度においても継続していきたいと考えています。

北田教育長

学校教育部「6. 小・中学校学力充実支援事業」は2年前から予算をつけていただけていますが、教員にとってプラスになっています。視察に行った教員が、学校に戻り他の教員に発表をしています。仲間の教員から説明を受けるので、説明を受けた教員の吸収も早く、視察にいった教員も、他の教員も成長できます。

今年は、横須賀市と広島県の安芸高田市に視察に行きました。なかには自費でも参加したいという教員がいます。より多くの教員が参加できるように予算充実をお願いしたいと思います。

黒田市長

長谷川委員からグローバルコミュニケーション能力向上支援事の話がありましたが、これにしろ、タブレットパソコンの話にしろ、子どもたちにはそのような機会を作ってあげなければならないと思います。1人でではなく、皆で色々な話や議論を行うようなクラスになればよいと思います。

黒田市長

続きまして3ページ目、生涯学習推進部です。

事務局に確認ですが、「1. 総合体育施設管理運営」の総合体育施設の屋上防水改修工事は設計ではなく工事ですね。

事務局

工事です。今年度、設計は完了しています。

黒田市長

「２．星田西体育施設管理運営」については設計ということですね。

事務局

公共施設の１１か年設計・改修・修繕計画に基づき設計を行うものです。

黒田市長

「３．私部城跡保存事業」に関しては、文化財保存であると同時に土地開発公社の健全化という面もあるということですね。

「４．文化財保存活用地域計画作成事業」は義務化によるものですか。

事務局

策定は努力義務ですが、今後の国の方向性としては、文化財の補修等の国庫補助を受ける際には、地域計画に則ったものでなければ対象とならないとのことです。なお、作成費用については１００％補助が出ると聞いています。

北田教育長

「４．交野市文化財保存活用地域計画作成事業」ですが、学校もそうですが、文化財もまちの魅力の１つだと思います。先月の私部城をテーマにした市民文化財講座には他市からもたくさんの方が来られましたが、交野で生まれた人間でも知らないようなことを知っておられます。

講演の中で、私部城主の安見氏が愛媛の松野町で河後森城を作ったという話を聞きましたが、松野町では河後森城をまちづくりに活かしています。

文化財を上手に活用して、良いまちづくりに繋がりたいと思いますので、作成についてはご支援をお願いしたいと思います。

黒田市長

他にございますか。

全体を通してのご意見はありますか。

北田教育長

教育委員をしていますと、各市の取組みをまとめた冊子を見る機会があります。内容を見てみますと、既に本市でも実施しているものも多くあります。そういった意味では、本市の教育の中身は進んでいる部分も多いと思います。そういった部分を活かして、交野の教育はいいな、子どもを交野の学校に通わせたいと思われるようにすることが、まちづくりに力発揮すると思いますので、引き続き支援をお願いしたい。

亥埜教育委員

子どもの安全・安心ということですが、通学時間帯に危険な運転をしている車をよく見かけます。子どもが安全な場所においても事故にあうことがあります。大人の意識を改革するような対策をお願いしたいと思います。

黒田市長

特にお気づきの場所がございますか。

亥埜教育委員

第二中学校前の道路です。いくらこちらが安全対策をしても、そういった大人のせいで痛ましい事故にならないようお願いしたいです。

黒田市長

今のお話は交通安全の話ですが、防犯の面でIoT見守りサービスの利用状況はどうですか。

北田教育長

有料期間になってから利用者は1割程度となっています。他市と比較すると高いほうではありますが、新1年生に端末を配布する際には保護者にも分かりやすい資料を配布し、再周知を行っていきたいと考えています。

黒田市長

亥埜委員のご指摘は運転する側のマナーの話でしたが、ハード的に解消できるかどうか、関係機関と検討させていただききたいと思います。

他にご意見等ございませんか。

無いようですので、この案件につきましてはこの程度で留めたいと思います。

本日頂きましたご意見をしっかり踏まえながら予算編成を進めてまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

案件2. その他ですが、何かございましたらお願いします。

無いようですので、本日の総合教育会議はこれで終了いたします。本日は誠にありがとうございました。

以上

本議事録は発言の要点をまとめているものであり、発言全てを記載したものではありません。